

知事コメント

令和4年11月30日(水)

沖縄県の人口10万人あたりの新規陽性者数は11月29日時点で204.40人、全国平均 565.17人を下回っていますが、直近1週間の前週比が1.2前後で推移するなど、県内における新規陽性者数は徐々に増加しております。

病床使用率は、11月30日時点で25.6%となっており、先週23日時点と比較しますと8.8%上昇しています。今月は入院者数も増加傾向にあることから、今後、今年夏頃の第7波で経験したような、医療ひっ迫が生じないか、注視する必要があります。

国においては「今秋以降の感染拡大で保健医療への負荷が高まった場合に想定される対応」が取りまとめられ、オミクロン株に対応した指標及び事象を改訂した「オミクロン株対応の新レベル分類」が示されたところです。

国の考え方、また、先週開催された、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議における委員の意見を踏まえ、本日開催されました、新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、沖縄県における判断指標の見直しを行いましたので、本日付で発表します。

レベル分類の見直しにおいては、警戒レベルを4分類に設定しております。まず、感染小康期である「レベル1」では病床使用率又は重症病床使用率が30%以下、感染拡大初期の「レベル2」では50%以下、医療負荷増大期の「レベル3」では50%超、医療機能不全期の「レベル4」では80%超を判断指標の目安としています。

なお、専門家会議においては、判断指標だけでは対応が遅れることから、例えば、発熱外来や救急外来のひっ迫状況等の事象について、医師会や各病院長と密な連携を図り、把握するよう意見がありました。

新レベル分類における、現在のレベル判断について、沖縄県における病床使用率等の指標は「レベル1相当(30%以下)」であること、また、医療の負荷に関する状況や専門家の意見等を踏まえ、総合的に判断して、今回、沖縄県では、警戒レベルを「レベル1」と判断いたします。

しかし、現在の県内における感染状況は、新規陽性者の増加傾向が見られ、また、病床使用率も高まっていることから、十分な警戒が必要です。

さて、年末に向けた県民の皆さまへのお願いです。明日から12月に入り、会食の機会も多くなります。お酒が入ると感染対策が緩む危険性があり、注意が必要です。

そのため、会食を行う際には、できるだけ大人数、長時間の集まりは控え、検査で陰性を確認する等、感染対策に万全を期すようお願いいたします。また、会食の回数はできるだけ減らしましょう。

特に、発熱、のどの痛み、咳、鼻水等の体調不良の症状がある方は、会食に参加しない、させないことを徹底して下さい。また、同居者に体調不良等の症状を認める際、会食には参加しないで下さい。なお、会食を行う際には、感染防止対策認証店をご利用ください。

ワクチンについては、現在、初回接種を終了した12歳以上の方へ、オミクロン株対応ワクチン等を1回接種することとされています。オミクロン株対応ワクチンの接種は、最終接種からの接種間隔が、3ヶ月以上へ短縮され、年末までに、多くの県民がオミクロン株対応ワクチンの接種を受けることが予想されます。

県広域接種センターでは、12月3日からBA.4-5対応型ワクチンでの接種を開始いたします。過去2年間、年末年始に流行の波が到来していることを踏まえ、重症化予防等の観点から、年内接種を是非ご検討ください。

県民の皆さまへのお知らせです。沖縄県では、これまで、陽性者の健康相談や登録について、それぞれ受付窓口を設置しておりましたが、今回、連絡先が変更となり、「沖縄県陽性者フォローアップシステム(098-894-8291)」として、明日(12月1日)から運用開始します。電話から流れてくる音声ガイダンスに沿って対応することで、希望する相談窓口へおつながります。

また、ワクチン関係の予約や相談窓口である「沖縄県新型コロナワクチン専門相談・県広域接種センター(098-894-8410)」についても、明日から番号が変更となりますので、ご注意ください。

なお、発熱や咳などの症状があり、受診等の相談、あるいは、新型コロナウイルスの後遺症に関する相談窓口である「沖縄県発熱コールセンター(098-866-2129)」については、番号の変更はございません。

現在、有症状者の小中高生のある世帯への抗原検査キットを無料配布している通称「RADECO(ラデコ)」については、今後のさらなる感染拡大時に向けた備えとして、12月中旬を目途に、配布対象に未就学児を加え、保育PCR検査を唾液による検査キットを用いたRADECO(ラデコ)に移行してまいります。

また、保育施設内の感染対策として、保育士を対象とした定期PCR検査を継続し、感染拡大時には、保育士への抗原検査キット追加配布を検討いたします。なお、感染への不安がある場合等に利用できる無料PCR等検査は、12月以降も実施しますので、ご活用下さい。

県内では過去2年間、年末年始に流行の波が到来したこと、また、今年の冬はインフルエンザとの同時流行も予想されることから、最大限の警戒が必要です。そのため、県において、第6波、第7波における保健医療の取組を振り返るとともに、第8波への対応を取りまとめたので、本日開催された本部会議において報告しました。後ほど沖縄県ホームページで公表します。

年末年始は例年、帰省やイベント等で人の移動が活発化する中で、若い世代においては、受験など大切な時期を迎えます。県民の皆さまに

おかれては、自分自身、それから大切な方々を守るためにも、早めに、オミクロン株対応ワクチンやインフルエンザワクチンの予防接種を済ませるとともに、熱が出た場合に備えて医療用抗原検査キットや解熱鎮痛剤等入手するなど、年末年始に向けて感染対策を万全にしましょう。